



12月定例市議会 市長所信

12月議会が12月4日から21日までの18日間の日程で開催されました。開会日には、議案審議に先立ち、当面する市政の重要課題につきまして、市長より所信が表明されます。今議会で表明された主な内容につきましては、次のとおりです。

紙面の都合上、抜粋して要旨部分のみ掲載しています。全文をご覧になりたい方は、市ホームページをご覧ください。また、後日作成する市議会会議録は、市立図書館等で閲覧することができます。

四国電力株式会社と連携協定を締結

平成30年11月27日に、四国電力株式会社との間で市民の安全・安心な暮らしの向上等の推進を目的とした連携協定を締結しました。

四国電力株式会社が地方自治体とこうした連携協定を締結するのは、本市が初めてであり、調印式では、四国電力株式会社執行役員の梅田真司徳島支店長から、「協定締結により阿南市の将来像である『ひと、まち、心をつなぐ笑顔の光流都市』をめざし、地域社会の持続的な発展に積極的に取り組んでゆく」とのお言葉を頂戴し、本市といたしまして、新たな地域連携が生まれることに期待しているところであります。江戸時代、電気のことを「エレキテル」といい、一般的には平賀源内が日本初の発電器エレキテルを作ったとして知られていますが、実際には、オランダから輸入されたエレキテルを修理したものであって、日本の電気学の開祖は蘭学者の橋本宗吉という人物です。この橋本宗吉は、阿波の国、荒田野村

阿南医療センターについて

医療センターの建設工事は、平成31年春の開院に向けて順調に工事は進んでいると徳島県厚生農業協同組合連合会（JA徳島厚生連）から伺っています。

また、医療センター開院後の新たな協力・支援関係を構築するための協議機関として設置します「阿南市地域医療協議会」の第1回目の会議が、平成30年11月5日に開かれました。本協議会の委員は、JA徳島厚生連、阿南市医師会および本市がそれぞれ指名した委員18人で組織され、私も委員の一人として参加をさせていただいています。

さらに委員には、徳島大学から丹黒章医学部長と安倍正博医学部教授も加わっていただいています。

当日の協議会では、JA徳島厚生連から医療センターの概要および建設工事の進捗状況や阿南中央病院・阿南共栄病院の勤務医師の現状などの報告を受けるとともに、医療センター開院に向けての医師確保などについて協議をしました。

本市としても、多くの市民の方が医療センターに大きな期待をされておりますので、その期待に応えるべく、今後は本協議会において医療センターがより高い医療サービスの提供ができるようにしっかりと提言・要望をしてまいります。

現在の新野町生まれで、「エレキテル」を自然科学の対象とし、豊富な実験による研究で、日本電気学の創始者と呼ばれています。

また、昭和38年に四国電力株式会社新徳島発電所、現在の阿南発電所の1号機の運転が開始されて以来、発電設備の新増設により、現在では、電源開発株式会社と合わせて、中国、四国、九州で最大の電力供給都市となっており、本市は、まさに「電気のあるさと」ということができると思います。

こうした縁の深い四国電力株式会社と連携協定を締結し、災害対応や地域・暮らしの安全・安心に関すること、エネルギー事業および産業振興、まちづくりに関する事など、各分野において、それぞれが有する資源を有効活用しながら、これらの施策に相互に連携し、協力して取り組むことで、市民生活の向上を図ってまいりたいと考えています。

マイナンバーカード普及促進

平成31年4月3日から、全国のコン

ビニエンズストアで、簡単に住民票の写し等の交付が受けられる、いわゆる「コンビニ交付サービス」を開始します。

このコンビニ交付サービスは、マイナンバーカードを利用して、本市が発行する住民票の写しや印鑑登録証明書等を、全国約5万4000店のコンビニエンスストアで取得できる大変便利なサービスです。しかしながら、全国的にマイナンバーカードの普及は低調であり、今後、カードの交付率向上が大きな課題となっております。

このことから、本市では、カードの交付率向上のため、市内各企業へ職員が出向き、無料で写真撮影を行い、マイナンバーカードの交付申請を受け付けるサービスを開始し、平成30年12月3日からの5日間、市内企業において、約230人の申請を受け付ける予定となっております。

今後も、コンビニ交付サービスの利用促進にむけて、マイナンバーカードの普及促進に係るさまざまな取組を実施してまいります。

成人への風しんワクチン予防接種の助成事業

平成30年7月下旬以降、関東地方を中心に風しん患者が増加し、特に男性は30歳から40歳代で感染が広がっており、徳島県内においても、3年ぶりとなる患者の発生を確認しています。妊娠初期の女性が「風しんウイルス」に感染すると、心疾患や難聴などの障がいのある、「先天性風しん症候群」の赤ちゃんが生まれる可能性が高いといわれています。

こうしたことから、県においては、平成30年10月16日から平成31年3月末日までの期間において、無料で「風しん抗体検査」が受けられる事業を実施しています。本市といたしましても、抗体検査を受けられた方で風しんの抗体が陰性または低い方が風しんワクチン予防接種を希望される場合は、自己負担額3500円で接種できる助成事業を平成30年11月1日から平成31年3月末日までの期間において実施することとしました。

助成事業の対象者は、市内に住所有し、妊娠を希望または妊娠する可能性の高い女性および予防接種制度の変遷により、抗体保有率が低いとされている昭和37年4月2日から平成29年4月1日までに生まれた男性を対象とし、1人1回限りの助成となります。本市では、安心して子どもを生み育

てることのできる環境を確保するための一環として、この助成事業を実施します。

「あなん消防フェア2018」を開催

平成30年11月11日、阿南市消防本部において「あなん消防フェア2018」を開催しました。今回で第3回目となる消防フェア当日は、好天に恵まれ約700人の家族連れや来場者でにぎわいました。

この消防フェアは、全国秋の火災予防週間の防災啓発活動の一環として、「見る・ふれる・乗ってみる」をテーマに楽しみながら、防災の知識と行動力を身に付けてもらえることを目的に、約20の催しを行いました。

本市のイメージアップキャラクターである「あなん一日消防署長」が見守る中、はしご車や徳島県消防防災ヘリなどの見学と搭乗体験、心肺蘇生法などの応急手当、ちびっ子レスキュー隊員によるロープ渡りや煙避難体験、さらには、子ども用の防火服やオレンジ色の救助服に着替えての記念撮影など、どのブースも期待に胸ふくらませ順番を待つ子どもたちや家族の笑顔で満ち溢れ「大きくなったら消防士になりたい」といううれしい声が聞かれました。

この消防フェア終盤では、帰路のため上空へ舞い上がる消防防災ヘリに向

ナカちゃんバスの路線を延伸

地域公共交通に關しましては、かねてから循環バス路線（ナカちゃん号）および新野線の運行ルートの見直しについて、運行事業者である徳島バス阿南株式会社と協議を重ねてまいりましたが、平成30年2月の地域公共交通会議において協議が調い、10月から路線が変更されました。

ナカちゃん号については、羽ノ浦町のあすみが丘、明見、そして、古毛方面が延伸部分であり、東回り・西回り各3便の1日計6便の運行となっております。

また、新野線は、喜來行きの便を海老川・圓福寺方面を経由する路線に変更しています。

今後も、アンケートや利用状況等から懸案事項を分析し、利用しやすいバス運行をめざすとともに、利用啓発、情報発信等に努め、市民と交通事業者そして、行政が協働し、地域公共交通の確保・維持に努めてまいります。

かい子どもたちは羨望の眼差しで手を振って見送り、消防職員による消防訓練披露では、多くの来場者から、あたたかい声援と拍手をいただきながら全日程を終了しました。今後も、消防フェア等を通じて地域の防災意識の高揚と市民から親しまれる消防をめざすとともに、市民の安心・安全を支えていけるよう、しっかりと努めてまいります。

伊島答島航路改善協議会を設立

伊島と本土を結ぶ唯一の公共交通機関である伊島答島航路については、島の通院や買い物等、生活する上で欠かせない唯一の移動手段であり、郵便物や生活必需品等の物資の輸送も行われるなど、島民の生活航路として欠くことのできない重要な役割を担っています。本航路の連絡船「みしま」は就航から15年を迎え、船体およびエンジンの経年劣化が著しく、船舶の更新を検討する時期を迎えていますことから、本航路の将来の見通しや航路の確保・維持ならびに運営改善の方策等を検討し、航路改善計画を策定することを目的とした「伊島答島航路改善協議会」を設立しました。

今後、本協議会において、安全・安定輸送の確保に向け、航路運営の具体的な改善方を検討してまいります。